



As-me ESTELLE



## 平成25年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

平成25年5月13日

上場取引所 大

上場会社名 As-meエステール株式会社

コード番号 7872 URL <http://www.as-estelle.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 丸山 雅史

問合せ先責任者 (役職名) 取締役

(氏名) 渡邊 正直

TEL 03-5777-5120

定時株主総会開催予定日 平成25年6月27日

配当支払開始予定日

平成25年6月28日

有価証券報告書提出予定日 平成25年6月28日

決算補足説明資料作成の有無 : 無

決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向)

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成25年3月期の連結業績(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

## (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期	29,809	2.2	2,328	△7.4	2,554	△0.5	1,392	26.5
24年3月期	29,177	7.8	2,513	92.7	2,565	91.4	1,100	70.0

(注) 包括利益 25年3月期 1,424百万円 (30.0%) 24年3月期 1,096百万円 (61.8%)

	1株当たり当期純利益	潜在株式調整後1株当たり 当期純利益	自己資本当期純利益 率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
25年3月期	124.81	—	12.6	8.2	7.8
24年3月期	98.67	—	11.0	8.3	8.6

(参考) 持分法投資損益 25年3月期 一百万円 24年3月期 一百万円

## (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
25年3月期	31,095	11,624	37.4	1,041.92
24年3月期	31,361	10,422	33.2	934.22

(参考) 自己資本 25年3月期 11,624百万円 24年3月期 10,422百万円

## (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
25年3月期	1,924	△137	△1,765	5,891
24年3月期	2,771	△134	△652	5,867

## 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
24年3月期	—	0.00	—	20.00	20.00	223	20.3	2.2
25年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	267	19.2	2.4
26年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		17.6	

## 3. 平成26年3月期の連結業績予想(平成25年4月1日～平成26年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期 純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	15,820	10.0	980	0.6	1,070	0.4	650	0.5	58.26
通期	34,030	14.2	2,440	4.8	2,590	1.4	1,525	9.5	136.69

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
② ①以外の会計方針の変更 : 無  
③ 会計上の見積りの変更 : 有  
④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料14ページ「(5)連結財務諸表に関する注記事項 (会計方針の変更等)」をご覧ください。

(3) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	25年3月期	11,459,223 株	24年3月期	11,459,223 株
② 期末自己株式数	25年3月期	302,883 株	24年3月期	302,635 株
③ 期中平均株式数	25年3月期	11,156,410 株	24年3月期	11,156,726 株

※ 監査手続の実施状況に関する表示

この決算短信は、金融商品取引法に基づく監査手続の対象外であり、この決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく連結財務諸表の監査手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料における予想数値及び将来に関する記述は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、経営環境の変化等により、本資料の予想数値または将来に関する記述と異なる場合があります。

## ○添付資料の目次

1. 経営成績・財政状態に関する分析 .....	2
(1) 経営成績に関する分析 .....	2
(2) 財政状態に関する分析 .....	2
(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	3
2. 企業集団の状況 .....	4
3. 経営方針 .....	5
(1) 会社の経営の基本方針 .....	5
(2) 目標とする経営指標 .....	5
(3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題 .....	5
4. 連結財務諸表 .....	6
(1) 連結貸借対照表 .....	6
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	8
連結損益計算書 .....	8
連結包括利益計算書 .....	9
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	10
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	12
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	14
(継続企業の前提に関する注記) .....	14
(会計方針の変更等) .....	14
(セグメント情報等) .....	14
(1株当たり情報) .....	15
(重要な後発事象) .....	16
5. その他 .....	18
役員の異動 .....	18

## 1. 経営成績・財政状態に関する分析

### (1) 経営成績に関する分析

#### (当期の経営成績)

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用環境や個人消費に穏やかながら改善が見られ、総じて景気は緩やかな回復基調にありました。期末にかけては、財政・金融政策への期待感から円高是正が進み、株価が上昇するなか、個人消費では、一部の高額商品で旺盛になるなど明るい兆しも見られましたが、日用品などでは、依然、選別的消費の傾向が強い状況にありました。

当社グループの当連結会計年度における店舗展開としては、当社では11店舗を出店、15店舗を閉鎖し、当連結会計年度末の店舗数は369店舗となり、メガネ小売のキンバレー(株)では2店舗を出店、1店舗を閉鎖し、41店舗となりました。

当連結会計年度の業績は、売上高は、既存店売上の改善などにより298億9百万円（前年同期比2.2%増）となりました。営業利益は、中長期的観点から、顧客層拡大のためのITを活用した販売促進・広告宣伝に取り組むなど販売費が増加し、23億28百万円（同7.4%減）となり、経常利益は、前期に海外子会社において計上した為替差損が当期に為替差益に転じ、25億54百万円（同0.5%減）となりました。当期純利益は、土地・建物の売却損を特別損失に計上し、また、税金費用が減少したことなどにより13億92百万円（同26.5%増）となりました。

なお、当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」であります。また、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、当連結会計年度よりセグメントごとの売上高及び利益又は損失について記載しておりません。

#### (次期の見通し)

次期の取組みとしては、店舗展開としては、引き続きスクラップアンドビルドと既存店の改装を進め、店舗鮮度の向上を図ってまいります。また、社員教育を深化させ販売力を強化してまいります。

次期の通期連結業績予想については、売上高は、平成25年5月8日に子会社化した(株)ブルームニー、(株)ブルーミング及び(株)ブルーム・アウトレットの寄与があり、340億30百万円（前年同期比14.2%増）を見込んでおります。損益では、営業利益24億40百万円（同4.8%増）、経常利益25億90百万円（同1.4%増）、当期純利益15億25百万円（同9.5%増）を見込んでおります。

### (2) 財政状態に関する分析

当連結会計年度のキャッシュ・フローは、現金及び現金同等物残高は、前連結会計年度末の58億67百万円より24百万円増加し、58億91百万円となりました。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは19億24百万円のプラス（前年同期は27億71百万円のプラス）となりました。これは主に、税金等調整前当期純利益16億60百万円、固定資産除売却損8億61百万円、減価償却費4億89百万円及び仕入債務の増加3億91百万円の資金増加と、法人税等の支払額6億8百万円、たな卸資産の増加6億6百万円及び負ののれんの償却額3億27百万円の資金減少によるものであります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の投資活動によるキャッシュ・フローは1億37百万円のマイナス（前年同期は1億34百万円のマイナス）となりました。これは主に、敷金保証金の返還4億68百万円、土地等の固定資産の売却1億81百万円及び投資有価証券の売却71百万円の収入と、固定資産の取得5億58百万円、敷金保証金の差入れ1億45百万円、保険積立金の積立82百万円及び子会社設立による出資80百万円の支出によるものであります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

当連結会計年度の財務活動におけるキャッシュ・フローは17億65百万円のマイナス（前年同期は6億52百万円のマイナス）となりました。これは主に、長期借入金の減少10億26百万円（純額）、社債の償還4億60百万円及び配当金の支払2億23百万円の支出によるものであります。

(3) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社における利益配分につきましては、経営の重要課題の一つとして位置付け、株主を含む当社のような利害関係者に対しましても、業績又は成果に裏付けられた成果の配分を行うことを基本としております。従って、利益配分につきましても、これを基本とし、また今後の事業展開を十分に勘案し、内部留保とのバランスを考慮しつつ安定した配当を心がけてゆきたいと考えております。

当期の配当につきましては、上記の基本方針と、当期の業績及び現在の財務状況等を総合的に勘案し、1株当たり24円の期末配当を予定しております。

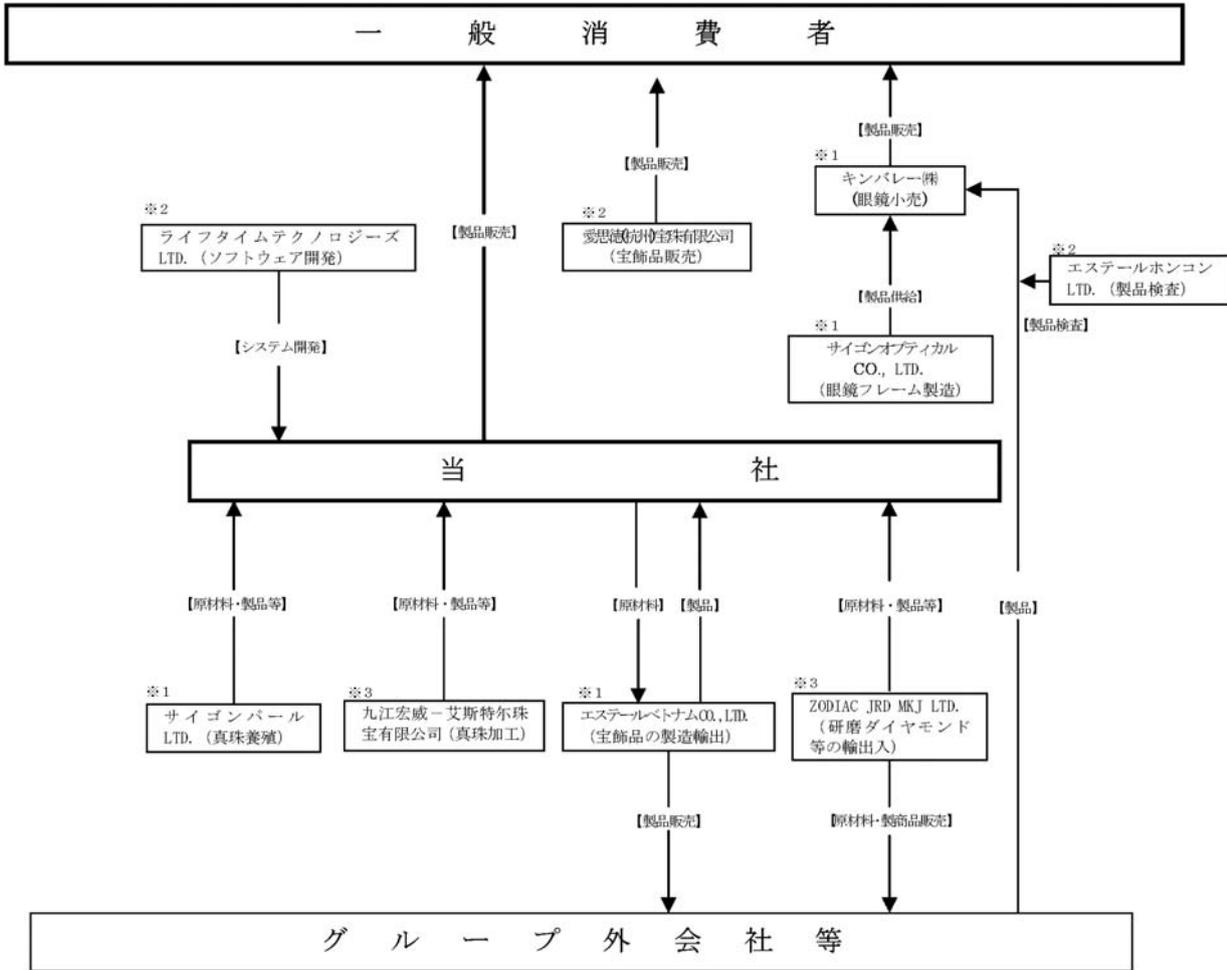
次期の配当につきましては、現時点では、1株当たり24円の期末配当を予想しております。

2. 企業集団の状況

当社グループ（当社及び当社の関係会社）は、As-meエステール株式会社（当社）、子会社8社（キンバレー(株)・谷口ジュエル(株)・エステールベトナムCO., LTD.・サイゴンパールLTD.・エステールホンコンLTD.・サイゴンオプティカルCO., LTD.・ライフタイムテクノロジーズLTD.・愛思徳（杭州）珠宝有限公司）及び関連会社2社により構成されており、事業内容は、指輪、ネックレス、ブレスレット、ピアス、イヤリング、アクセサリー、眼鏡等の製造及び販売を主に営んでおります。

なお、連結会社のセグメントの区分は、当社、エステールベトナムCO., LTD.、谷口ジュエル(株)及びサイゴンパールLTD.が宝飾品に属し、キンバレー(株)及びサイゴンオプティカルCO., LTD.が眼鏡に属してしております。

当社及び関係会社の当該事業に係る位置付けは、次のとおりであります。



(注) ※1 連結子会社

※2 持分法非適用非連結子会社

※3 持分法非適用関連会社

4 谷口ジュエル(株)は、当連結会計年度において事業活動を休止しております。

なお、当期の主な関係会社の異動は以下のとおりであります。

- ・平成24年4月に中華人民共和国浙江省において愛思徳（杭州）珠宝有限公司を設立

### 3. 経営方針

#### (1) 会社の経営の基本方針

当社グループは、製造から販売までの一貫体制を敷いていることが最大の特徴であります。その特徴を最大限に活かし、高品質で信頼性の高い商品をお客様に提供するために、グループ内全ての部門において、人・物・金・時間等の経営資源の無駄を省くための改善策を実施することにより、業務のスピード化と効率化を推進することに注力いたしております。また、株主を含む全ての利害関係者に対しては、あらゆる局面において、企業価値の最大化を目途とした経営方針を念頭に置いた意思決定を心がけ、また社員にとってはその処遇において、成果が報われる会社作りに注力することにより、当社グループとして社会的責任を果たしていくことを経営の基本方針としております。

#### (2) 目標とする経営指標

グループとして、宝飾品の製造から販売までを営む当社は、経営の基本方針を徹底することにより売上高のみならず、売上総利益、営業利益向上にも意を用いることにより、企業価値を高め、ROEの向上に繋げることに努めてまいります。

#### (3) 中長期的な会社の経営戦略及び対処すべき課題

中長期に対処する課題としましては、当社グループの最大の特徴である「製造から販売までの一貫体制」をさらに充実させることとあります。グループ内全ての部門において、無駄、無理、ムラを排除することにより、それぞれの部署における能力を強化し、コスト競争力や商品開発力を高め、その結果として品質の向上とコストの削減を追究し、顧客満足度を高めてまいります。

今一つの課題は、販売力の強化であり、これについては「地域に密着した店作り」を基本としており、その目的に即した採用や教育を実施してまいります。また販売力強化のもう一つの柱である店舗展開については、各商圈の変化や店舗採算等を検証しつつリニューアルも含め、今まで同様スクラップアンドビルドを進めてまいります。

また、商品戦略の骨格として「ブランド戦略」を推進しておりますが、引き続き当社グループの「製販一貫体制」の特徴を最大限に活かし、お客様のニーズを的確に捉えてまいります。

さらに、今般、子会社化した㈱ブルームニー、㈱ブルーミング及び㈱ブルーム・アウトレットの扱う「ブルーム」ブランドは、若年層を中心に根強い支持を受けておりますが、このブランド力を更に高めるとともに、グループ全体としては、多様なお客様層に支持をいただけるブランド展開を進めてまいります。

このように当社各部門の全ての力をお客様に満足していただける商品を提供することに集中し、当社グループ全体の業容の拡大に取り組んでゆく所存でございます。

4. 連結財務諸表  
 (1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,167	6,191
受取手形及び売掛金	2,649	2,621
商品及び製品	8,539	8,980
仕掛品	1,553	1,746
原材料及び貯蔵品	1,849	1,820
繰延税金資産	225	254
その他	137	147
貸倒引当金	△1	△1
流動資産合計	21,121	21,762
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	3,068	2,958
減価償却累計額	△2,120	△1,871
建物及び構築物(純額)	948	1,086
工具、器具及び備品	2,392	2,444
減価償却累計額	△2,062	△2,056
工具、器具及び備品(純額)	330	387
土地	849	50
リース資産	105	108
減価償却累計額	△70	△92
リース資産(純額)	34	16
その他	158	192
減価償却累計額	△72	△99
その他(純額)	85	93
有形固定資産合計	2,248	1,634
無形固定資産	425	336
投資その他の資産		
投資有価証券	913	932
関係会社株式	36	30
繰延税金資産	345	358
敷金及び保証金	4,878	4,559
賃貸建物	266	243
減価償却累計額	△180	△169
賃貸建物(純額)	86	74
賃貸土地	346	256
その他	961	1,151
貸倒引当金	△2	△1
投資その他の資産合計	7,565	7,361
固定資産合計	10,239	9,332
資産合計	31,361	31,095

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当連結会計年度 (平成25年3月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,777	4,169
短期借入金	1,090	1,100
1年内返済予定の長期借入金	4,014	3,371
1年内償還予定の社債	460	120
未払金	787	887
未払法人税等	412	123
賞与引当金	380	408
その他	655	668
流動負債合計	11,577	10,849
固定負債		
社債	120	—
長期借入金	6,608	6,224
退職給付引当金	1,402	1,498
役員退職慰労引当金	423	474
関係会社事業損失引当金	2	2
負ののれん	654	327
資産除去債務	46	50
その他	103	44
固定負債合計	9,361	8,622
負債合計	20,938	19,471
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,571	1,571
資本剰余金	3,384	3,384
利益剰余金	5,420	6,589
自己株式	△146	△146
株主資本合計	10,229	11,398
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	318	353
為替換算調整勘定	△125	△128
その他の包括利益累計額合計	193	225
純資産合計	10,422	11,624
負債純資産合計	31,361	31,095

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
売上高	29,177	29,809
売上原価	11,201	11,523
売上総利益	17,976	18,286
販売費及び一般管理費	15,462	15,958
営業利益	2,513	2,328
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	37	39
不動産賃貸料	36	28
為替差益	—	83
負ののれん償却額	360	327
その他	74	59
営業外収益合計	509	538
営業外費用		
支払利息	291	246
為替差損	118	—
その他	46	65
営業外費用合計	457	312
経常利益	2,565	2,554
特別利益		
投資有価証券売却益	1	37
受取補償金	2	—
特別利益合計	4	37
特別損失		
固定資産除売却損	47	889
減損損失	302	36
投資有価証券売却損	8	—
関係会社株式評価損	43	—
関係会社出資金評価損	45	—
店舗閉鎖損失	12	5
関係会社整理損	—	0
特別損失合計	459	931
税金等調整前当期純利益	2,110	1,660
法人税、住民税及び事業税	363	325
法人税等調整額	646	△57
法人税等合計	1,009	268
少数株主損益調整前当期純利益	1,100	1,392
当期純利益	1,100	1,392

## (連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
少数株主損益調整前当期純利益	1,100	1,392
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1	34
為替換算調整勘定	△6	△2
その他の包括利益合計	△4	32
包括利益	1,096	1,424
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,096	1,424

## (3) 連結株主資本等変動計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>株主資本</b>		
資本金		
当期首残高	1,571	1,571
当期末残高	1,571	1,571
資本剰余金		
当期首残高	3,384	3,384
当期末残高	3,384	3,384
利益剰余金		
当期首残高	4,503	5,420
当期変動額		
剰余金の配当	△178	△223
当期純利益	1,100	1,392
連結範囲の変動	△5	—
当期変動額合計	916	1,169
当期末残高	5,420	6,589
自己株式		
当期首残高	△146	△146
当期変動額		
自己株式の取得	△0	△0
当期変動額合計	△0	△0
当期末残高	△146	△146
株主資本合計		
当期首残高	9,312	10,229
当期変動額		
剰余金の配当	△178	△223
当期純利益	1,100	1,392
自己株式の取得	△0	△0
連結範囲の変動	△5	—
当期変動額合計	916	1,169
当期末残高	10,229	11,398

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金		
当期首残高	316	318
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	1	34
当期変動額合計	1	34
当期末残高	318	353
為替換算調整勘定		
当期首残高	△105	△125
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△19	△2
当期変動額合計	△19	△2
当期末残高	△125	△128
その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	210	193
当期変動額		
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△17	32
当期変動額合計	△17	32
当期末残高	193	225
純資産合計		
当期首残高	9,523	10,422
当期変動額		
剰余金の配当	△178	△223
当期純利益	1,100	1,392
自己株式の取得	△0	△0
連結範囲の変動	△5	—
株主資本以外の項目の当期変動額（純額）	△17	32
当期変動額合計	898	1,201
当期末残高	10,422	11,624

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益	2,110	1,660
減価償却費	437	489
減損損失	302	36
負ののれん償却額	△360	△327
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△9	△0
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	121	94
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	32	51
賞与引当金の増減額 (△は減少)	25	28
受取利息及び受取配当金	△37	△39
支払利息	291	246
為替差損益 (△は益)	0	△0
投資有価証券売却損益 (△は益)	7	△37
関係会社株式評価損	43	—
関係会社清算損益 (△は益)	—	0
関係会社出資金評価損	45	—
固定資産除売却損益 (△は益)	28	861
差入保証金償却額	2	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△841	27
たな卸資産の増減額 (△は増加)	363	△606
前渡金の増減額 (△は増加)	28	1
仕入債務の増減額 (△は減少)	542	391
未払金の増減額 (△は減少)	97	97
未払又は未収消費税等の増減額	19	△89
その他	△57	△149
小計	3,193	2,736
利息及び配当金の受取額	37	39
利息の支払額	△291	△242
法人税等の支払額	△168	△608
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,771	1,924

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
投資有価証券の取得による支出	△104	△2
投資有価証券の売却による収入	22	71
出資金の回収による収入	0	—
子会社出資金の取得による支出	—	△80
関係会社の整理による収入	—	6
固定資産の取得による支出	△430	△558
固定資産の売却による収入	38	181
敷金及び保証金の差入による支出	△229	△145
敷金及び保証金の回収による収入	631	468
保険積立金の積立による支出	△84	△82
その他	21	4
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△134</b>	<b>△137</b>
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△552	10
長期借入れによる収入	5,014	3,600
長期借入金の返済による支出	△3,955	△4,626
社債の償還による支出	△868	△460
割賦債務の返済による支出	△62	△36
リース債務の返済による支出	△27	△29
長期未払金の返済による支出	△21	—
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△178	△223
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△652</b>	<b>△1,765</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△0	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	1,983	24
新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額	9	—
現金及び現金同等物の期首残高	3,874	5,867
現金及び現金同等物の期末残高	5,867	5,891

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更等)

会計上の見積りの変更と区分することが困難な会計方針の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当連結会計年度より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

この変更による四半期連結財務諸表に与える影響は軽微であります。

## (セグメント情報等)

セグメント情報

## I 前連結会計年度（自平成23年4月1日 至平成24年3月31日）

## 1. 報告セグメントの概要

当社の報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、主に宝飾品及び眼鏡の製造販売を営んでおり、製品ごとに連結会社がそれぞれ事業展開を行っております。

したがって、当社は「宝飾品」及び「眼鏡」を報告セグメントとしております。

## 2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

## 3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	合計 (注) 2
	宝飾品	眼鏡	計		
売上高					
外部顧客への売上高	27,642	1,535	29,177	—	29,177
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	27,642	1,535	29,177	—	29,177
セグメント利益	2,459	37	2,496	16	2,513
セグメント資産	30,723	712	31,435	△73	31,361
その他の項目					
減価償却費	391	46	437	—	437
有形固定資産及び 無形固定資産の増加額	495	70	565	—	565

(注) 1. セグメント利益の調整額16百万円は、セグメント間取引消去であり、セグメント資産の調整額△73百万円は、セグメント間債権債務消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## II 当連結会計年度（自平成24年4月1日 至平成25年3月31日）

当社グループの報告セグメントは「宝飾品」及び「眼鏡」であります。が、「眼鏡」の全セグメントに占める割合が低く、重要性に乏しいため、当連結会計年度よりセグメント情報の記載を省略しております。

## （1株当たり情報）

区分	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
1株当たり純資産額	934円22銭	1,041円92銭
1株当たり当期純利益	98円67銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。	124円81銭 なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載していません。

（注） 1株当たり当期純利益金額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 平成23年4月1日 至 平成24年3月31日)	当連結会計年度 (自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日)
当期純利益（百万円）	1,100	1,392
普通株主に帰属しない金額（百万円）	—	—
普通株式に係る当期純利益（百万円）	1,100	1,392
期中平均株式数（千株）	11,156	11,156

（注） 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度末 (平成24年3月31日)	当連結会計年度末 (平成25年3月31日)
純資産の部の合計額（百万円）	10,422	11,624
純資産の部の合計額から控除する金額（百万円）	—	—
普通株式に係る期末の純資産額（百万円）	10,422	11,624
一株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数（千株）	11,156	11,156

## (重要な後発事象)

当連結会計年度 (自平成24年4月1日 至平成25年3月31日)

## (株式取得による子会社化)

当社は、平成25年1月31日に東京地方裁判所に対して民事再生手続の申立を行った株式会社ブルームインターナショナルの事業譲渡等再編に関連して、同社及び同社の関係会社（以下、ブルームグループといいます。）のオリジナルアクセサリーの企画・販売事業を承継することとし、平成25年5月8日に吸収分割により事業承継した株式会社ブルームニー、株式会社ブルーミング及び株式会社ブルーム・アウトレットの全株式を取得し、子会社化しました。

## 1. 取得の目的

ブルームグループは、百貨店、ファッションビル等を中心にオリジナルアクセサリーを販売し、その取扱いブランドは、ファッション感度の高い20代、30代の女性を中心に根強い支持を得ております。

当社グループにおいては、ブルームグループのオリジナルアクセサリーにおける商品企画力が、当社の貴石・貴金属を素材とした宝飾品の製造における強みとの補完性が強くありながら、販売形態や商品セグメントにおいては競合関係にないという利点があります。当社は、既存の経営資源をコアに事業領域を拡大し、また、ブルームグループの商品企画力における強みを取り込むことにより、当社グループの企業価値の増大が図れるものと判断し、子会社化することといたしました。

## 2. 株式取得対象会社の名称、事業内容、規模及び株式取得の相手会社の名称

## (1)

株式取得対象会社の名称	株式会社ブルームニー	
事業内容	オリジナルアクセサリーの販売	
規模 (承継した事業の直前事業年度における売上高)	平成25年2月期	4,202百万円
株式取得の相手会社の名称	株式会社ビー・21 (旧名称：株式会社ブルームニー)	

## (2)

株式取得対象会社の名称	株式会社ブルーミング	
事業内容	オリジナルアクセサリーの販売	
規模 (承継した事業の直前事業年度における売上高)	平成25年2月期	688百万円
株式取得の相手会社の名称	株式会社ビー・ミング (旧名称：株式会社ブルーミング)	

## (3)

株式取得対象会社の名称	株式会社ブルーム・アウトレット	
事業内容	オリジナルアクセサリーの販売	
規模 (承継した事業の直前事業年度における売上高)	平成25年2月期	225百万円
株式取得の相手会社の名称	株式会社ビー・アウトレット (旧名称：株式会社ブルーム・アウトレット)	

## 3. 株式取得の時期

平成25年5月8日

## 4. 取得した株式の数、取得価額及び取得後の持分比率

## (1)

株式取得対象会社の名称	株式会社ブルームニー
取得した株式の数	200株
取得価額	489百万円
取得後の持分比率	100%

## (2)

株式取得対象会社の名称	株式会社ブルーミング
取得した株式の数	200株
取得価額	389百万円
取得後の持分比率	100%

## (3)

株式取得対象会社の名称	株式会社ブルーム・アウトレット
取得した株式の数	200株
取得価額	106百万円
取得後の持分比率	100%

(注) 1. 上記の取得価額は、平成25年5月8日時点の支払額であり、今後において契約上の承継資産負債に調整が行われた場合、取得価額は変更されます。

2. 支払資金は、全て自己資金であります。

3. 上記の取得価額の外、本件株式取得に係るアドバイザー費用、報酬その他の費用の総額は14百万円であります。

5. その他

役員の変動（平成25年6月27日付予定）

①新任取締役候補者

取締役 管理本部長	羽生 達夫	（現 管理本部財務部長）
--------------	-------	--------------

②退任予定取締役

取締役 管理本部長	渡邊 正直
--------------	-------